



病気の際も 忘れずに歯磨きを

北病院病棟
摂食嚥下障害看護認定看護師
永井 浩美

風邪をひいた高齢者が、病気が治ったのにご飯が食べられないと相談を受けることがあります。またそのために入院をされる場合も少なくありません。

原因の1つに自分で歯磨きができなくなり、口の中が食事を摂れない状態になっている場合があります。口は空気と食べ物が入り口です。普段は自分で歯磨きができている方でも、熱や病気で動くことができず口の中に汚れがたまることで、炎症が起きて口内炎歯肉の腫れ、歯のぐらつきの原因になり、汚れ自体から食欲低下になっていることがあります。

また口の中の汚れは口腔内の自浄作用を低下させ、更なる汚染を引き起こし、それを誤嚥すると誤嚥性肺炎になる危険性も増してしまいます

高齢者が病気になったときは、歯磨きの援助を忘れないようにしてください。介護サービスを利用している場合は、介護サービスのスタッフに相談するとよいと思います。利用していない場合は、受診時に看護師にお尋ねください。